

Weekly Report

東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック

第2580地区ガバナー 石川 彌八郎

隔たりを取り除き、「ご縁」を大切に

ロータリー活動を

最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

本日の卓話

山本信太郎が語る

「ニューラテックオーター」の光と影

元ニューラテックオーターオーナー 山本 信太郎様

司会進行
点鐘

手に手つないで
ゲスト・ビジター紹介
ニコニコボックス報告
会長報告
幹事報告
出席報告

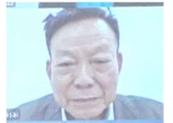
中野 広行幹事
海江田健司会長
永井 一史会員
張 碧華会員
中野 広行幹事
海江田健司会長
中野 広行幹事
中野 広行幹事

幹事報告 中野 広行幹事

・次週 31 日はオンライン例会です。お間違えのないようお願いします。
・月 1 回断食基金へのご協力ありがとうございました。

挨拶 ベトナム南米山学友会会長 ホー ライ フーン様

皆様こんにちは、シンチャオ!ベトナム南米学友会のホー ライ フーン、日本名は笠井会長です。1968 年日本に留学し 56 年経ちました。群馬大学へ行き、群馬県の桐生西 RC より 2 年間奨学金をいただきました。



ZOOMにてご参加

ベトナム南米山学友会は、2014 年 6 月 15 日ホーチミン市内で米山学友会グループを形成して、当時 19 名〜28 名、現在は 103 名になりました。10 年間に渡り、障害者、高齢者福祉施設などの奉仕活動を続け、合計 25 回実施しました。ロータリーの奨学金と同じように奨学金支援制度を設置し、学生 20 名に奨学金支給をしました。ベトナム南米山奨学会みんなで一致団結し、ベトナムと日本と立派な架け橋になることを目指しております。まだまだ出来立ての学友会です。我々は学友会としては 10 番目です。日本の RC の皆様と、情報交換させていただきながら、長く継続できるように頑張ります。今後もお茶の水 RC の皆様といろんな機会でお交流していきたいと思っています。今後共よろしく願います。

ゲスト・ビジター

ベトナム南米山学友会会長 ホー ライ フーン様

誕生日祝い

7 月 21 日 日根野雅敏会員
7 月 23 日 和田 夏彦会員
7 月 26 日 海江田健司会長



ニコニコボックス

土居会員 熱い中、例会によろこそ出席された皆様に感謝です。
笠原会員 伊東さん、毎週連絡ありがとうございます
大原会員 アツイ!!
角田会員 海江田会長、中野幹事、1 年間宜しく御願いたします。7/26(金)サマーフェスティバルというイベントがありますので皆様遊びに来て下さい。

計 9,000 円 累計 135,000 円

会長報告 海江田 健司会長

・皆出席の表彰です。
木宮会員 4 年
・8 月 21 日はガバナー公式訪問日です。本日この後のクラブフォーラムで、クラブ協議会の発表者を決めたいと思います。会員の皆様でガバナーをお迎えいただきたいので、ご出席よろしく願います。
・先週今年度初の千代田 6 クラブ会長幹事会が紀尾井町 RC ホストで開催され、私と中野幹事で出席してきました。



神田一橋中学の職業体験について 高山 肇会員

一橋中学では長らく職業体験を実施していて、青年会議所でも一部お手伝いをしているそうですが、青年会議所だけでは足りなくなり、3 年位前にぜひお茶の水 RC の会員の皆様に、職業体験の場を提供してほしいという依頼がありました。高山本店、ブックハウスカフェ、木宮会員の会社の 3 社で 2 回連続引き受け、一橋中学でも評価を受けております。今年も一橋中学から依頼がありましたので、一旦お茶の水 RC で仕切り直して、他の会員の会社で引き受けさせていただき整理をしたいと思います。一橋中学の生徒が行くことができる千代田区の会社であることが条件です。千代田区の会社：和田会員、山下会員の会社が候補一橋中学には 8 月の中旬位に返事をすると言っていますのでご検討よろしく願います。

お茶の水 RC が窓口になって引き受けているのと、お茶の水 RC の事業だという認識を改めてしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

ロータリーの友 7月号の紹介 土居 岩生会員

RI の理事が 7 月から変わり、水野功さん (2750 地区バスターガバナー) になりました。ガバナー制度を廃止し、SRL (ロータリーの未来形成委員会) を RI 理事会で検討しています。その一連で、クラブビジョンと戦略計画 (3year rolling goals) を目標にしている、地区を通さず RI が直接クラブを管理するのが最終的狙いですが、そのことでどう変化するのか、というところなのですが、一応そういうことを想定して、基本的にはそれぞれのクラブが活気あるクラブになっていこうということです。組織の力というのは「資金、人数、情報」の 3 つが重なり、組織は繁栄できると思います。これをどうやっていくかという前振りになるのが 40 ページになります。改めてもう一度読んでいただければと思います。

出席報告

会員数	36 名	ゲスト	1 名
出席	20 名	ビジター	0 名
ZOOM	4 名	合計	25 名

今後の予定

- 8/14 (水) お盆休会
- 8/21 (水) (於)東京ドームホテル
第 2580 地区ガバナー 石川彌八郎様
ガバナー公式訪問卓話
- 8/28 (水) 納涼家族親睦会 (於)赤坂浅田
- 9/4 (水) (於)東京ドームホテル
鉄道風景画家 松本 忠様
- 9/11 (水) (於)東京ドームホテル
オープン例会
一般社団法人障がい者自立推進機構
代表理事 松永 昭弘様
「アートで障がい者の夢を叶える世界を作る パラリンアート活動について」

クラブフォーラム

1. クラブ戦略委員会について
2. 8/21 ガバナー公式訪問・発表者について
3. 2024-25 年度予算

司会進行 中野 広行幹事

1. クラブ戦略委員会について

メンバーは会長幹事に一任いただき、指名させていただければと思います。(拍手、承認)

2. 8/21 ガバナー公式訪問・発表者について

ガバナーから送られてきた協議会の次第のうち、担当が決められていない項目の発表担当を決めます。

「My Rotary ロータリーの友の活用」 : 角田会員
「ローターアクト・ロータリー学友との交流」

: 笠原会員
「クラブビジョンと行動計画」 : 戦略委員会

8/21 皆様ご出席よろしくお願いします。各委員長も事業計画を発表していただきますのでよろしくお願いします。

3. 2024-25 年度予算

西村会員

資料にある通り、収支差額を見ると毎年赤字となっています。赤字を解消するためには、①収入を増やす、②支出を減らす、③その両方をやる、しかありません。奉仕活動 (社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕) の原資はニコニコボックスですが、現状ニコニコの収入額に見合わない奉仕活動の支出を行っています。既に理事役員会で承認決定されているものであっても改めて決議し直すことにより外すことも可能です。今まで会費はあまり値上げしないようにとやってきましたが、値上げも検討しなくてはいけないのではないかと思います。入会金を復活するという案もあります。またオンライン参加型会員を設置した当時、主旨として会員増強に重きを置き、会費を格安な価格にしましたが、何年か経ち、オンライン参加型会員制度をそろそろ見直してもいい時期ではないかと思っています。本来オンラインで参加するので、例会の食事代以外の費用を按分するのが考え方として正しいと思いますが、現状そうではなく、正会員とオンライン参加型会員との間に不平等が生じています。本来払ってもらえるはずの金額に比べ安すぎるのではないかと感じ、オンライン会費の見直しを考えた方がいいように思います。ただこの件は、理事役員会だけで決めるにはあまりにも重大なので、皆さんのご意見を聞いてからということになりました。

牛島会員

オンライン会員制度の有無は別として、皆さんがどのくらい費用負担しているかを数字で見えたというのが初めてで、それをどう捉えるかは個々にあると思いま

す。現状を考えると、値上げするかしないか、という二択だと思います。値上げしないのであれば今迄どおり、値上げするのであれば、いくら上げたらいいのか、当然オンライン会員の方も含めたところで意見を交わさなくてはいけないと思います。値上げ額によって、辞める人、もしくは残る人もいるかもしれません。そもそもオンライン会員は3年~5年を目途に通常会員になることを期待し、それがクラブの狙いとしてあり、そういう前提があるなかで、確かに3年経ちました。もう一辺考え直してもいい機会なのかなと思います。入会金に関して、私個人的な意見として、復活してもいいと思います。他クラブの話聞いた限りでは、ほとんどのクラブは入会金を取っているにも関わらず会員増強ができています。それが会員増強につながる大きな理由にはならないというのが私の意見です。会費値上げをするのであれば、もう少し議論をする時間が必要だと思います。とりあえず現行の予算の会費で実施し、追加請求するかしないか、後日払っていただくとかそういう形になるかもしれないのですが、それを早くやらなくてははいけません。クラブフォーラムの主旨として、その場で決めることではなくあくまで意見を聞く場であり、最終的には理事役員会で判断して会員の方に問う、という形になると思います。

山下会員

入会金20万円は上げない方がいいと思います。オンライン会員というの、学生だった人でも入れる、一番安い金額は12万円くらいで、あと2万ちょっと上乗せしそれは経費に充てるようにと金額設定し、理事会で決めました。オンライン会員で入会した今本会員に、どうやったら入りやすいか意見を聞きました。そういった背景もありますし、将来の進め方とか、ここにいない人の意見も聞いた上で進めていかないといけないのではないかと私は思います。

高山会員

会員増強委員長の立場で言うと、入会金はやはり大きな障害になると思います。とって今話を聞いて、支出を全体で縮小するのは、なかなか難しいと思います。会費をどこまで上げたらいいか試算しなくてはならないと思いますが、会費を値上げすることを視野に入れて、検討に入ったら如何かと思います。

土居会員

ここ4~5年毎年100万~200万赤字が続いています。これは現実です。その内訳についてもよくわかりました。会費の値上げも含め、会費の値上げをどの程度するか、会費の値上げと支出の内訳をチェックして、支出の中味を、ロータリーらしい支出、そういうものをもう一遍見直しさないといけないと思います。食事はなくてもいいのではないかとこの考えの方もおられるかもしれませんが、活気あるクラブになるためにはどうだろうかと思えます。クラブとして、入会金の事も含め、もう一度議論、検討し理事会にかけていかないと、ずるずると先延ばしになっていきます。

大原会員

僕自身の考え方ですが、ニコニコを出しているのは、普段何か慈善事業に関わることが、個人ではなかなか難しい中、ロータリーに入って何かそういう意味で貢献したいと思う人が、ニコニコに少しでも寄付してそのお金が資金となって、活動に貢献できればという思

いでやっているところがあります。自己満足かもしれないですが、そういうことで貢献できたらという思いでやっているの、それを他人に強制するわけにはいかないと思います。1回に1万円、2万円だと金銭的に抵抗がありますが、1回千円、おこづかいや、コーヒー代くらいの金額であれば続けられます。

木宮会員

会長経験した立場からいうと、経費削減できるものは結構あります。例えば紀尾井町RCは事務所持っていません。家賃、公共料金など100万~200万弱くらいがなくなります。会長時代に疑問を感じていましたが、奉仕活動の予算と、ニコニコをどれくらい払っているか、バランスが取れていない。ニコニコが払われないのに、奉仕活動をしていることがおかしい。だからニコニコを払っていないのに奉仕活動をやっていること自体に疑問を感じます。オンライン会員というのは、僕と山下会長のときに、コロナ禍で、会場もグランドパレスから東京ドームに変えるといったときに、リモートで参加していただくことが大事であろうということと、会員が全然入ってこない中で、会員増強にも役立つのではないかとこのことでやったことなので、牛島さんが言われたとおり、3年経ったし、コロナも一応治まってきて、見直すことはいいいと思いますが、バランス取れているかどうか、違う次元にも問題があるのではないかと思います。会計論と言える人がいないので、西村さんが作成した資料を基に、ちゃんと機能したらいいと思います。

和田会員

はじめて収支がわかりました。値上げするのは簡単なのですが、その前に何が削れるのかよくわかりません。それと、ニコニコがそこまで重要だと思っていなかったの、しなきゃいけないと、率直な感想として思いました。

石渡会員

実績に寄付するなら、毎週BOX回ってくるのは本来おかしいとは思っています。結局こういうふう資金を集めて、というひとつの考え方なのはおかっていますし、成り立っていないのもわかります。金があるにつれてくるのです。皆さん経営者とかリーダーなので、金が有った方がいいという前提にたって考えた方がいいと思います。

永井会員

基本的に、まずこのRCを存続させるか、これが一番重要だと思います。支出の削減、何が原因なのか、これ以上削れないということであれば、会費を値上げるしかない。値上げしたときに、辞める人がどれくらいいるか明確でないと、ここで議論をしてもしょうがないと思います。値上げをしたことで辞める人が出ると困ってしまいます。会場費とか、食事代とか、回数はやっぱりRCの精神に則ると毎週1回でしょう。RCを辞めない仕組みをどうするか、まずは減らせるものは何なのか、削れるところがないのかどうか、もう少し議論してもいいと思います。

藤本会員

会費を値上げしますと、5000円値上げで18万、1万円値上げで36万です。あと例えば、大原さんの話を聞いてなるほどと思ったのが、ニコニコが1回1000円だとか、そのくらいのハードルだということを周知し

ていけば、もうちょっとニコニコも明るいのではないかと思います。それにしても年間 10 万円増えるぐらいだと思います。抜本的な解決策といえば、これはそれがいいと言っているわけではないのですが、事務所をどうするか、とか、そんな話になるのではないかと、数字で考えるとそういうこともひとつ検討しなきゃいけない時にきていると思います。

角田会員

入会費はいつからなくなったのか、なぜ入会金をやめたのかわかりません。現状いろいろと全部値上げをしていますので、とりあえず年会費をどれくらい上げたらいいかを試算して、それで辞める方がいるかどうか、決めないとどうにもならないと思います。年会費このままじゃ無理だと思います。世間全部値上がりしていますから、その辺はみなさん納得されるとは思いますが如何でしょうか。

佐々木会員

1 回目から参加している人は、年会費 40 万を 30 年間 1200 万円払っています。困っている人のために、チャリティのために RC に来るのであれば、私はそんな RC には来ないし、どこかに寄付した方が世の中のためになっていると思います。困っている人を助けるために年会費を払っているのでしょうか。違うと思います。私はこの RC に参加するために、年会費を払っています。何故 RC に参加するかというと、楽しい仲間がいるからです。楽しい仲間がいなくてもよければ 40 万円も払いません。仲間とロータリーをやっていくために 40 万円必要だと、もっと必要だと言ったときに、仲間の付き合いが、それだけの価値があると、私は実際自分では思っています。

日根野会員

入会した動機は、入会のお誘いがあったのと、社会で活躍されている皆さんとお知り合いになれると同時に社会奉仕もできるということで、私としてはいいことづくめで入らせていただきました。会費は、立場上会社ですべて負担することができたので、私的には、おそらく今予想される値上げくらいでしたらお支払いできるのかな、と勝手ながら思いました。せっかくこのようないい会ですので、存続するためにも、節約できるところは節約し、ただ必要であれば会費の値上げもありだと思います。いくつか案が出てからアンケートをとってみたいと思います。また誰か勧誘して会員増強することも効果的だと思ひまして、がんばりたいと思います。

神保会員

会費の値上げは仕方ない部分があると思います。ただ、30 代、40 代の方にも入会してもらうことを考えると、あまり値上げをしないでいただければありがたいです。オンライン会員は、当初、会員増強の目的で設けられたと思いますので、いずれ正会員になっていただくことが前提ではありますが、会員が増える方向であれば存続させても良いと思います。

張会員

私の当初 RC に対し、金持ち、それから奉仕活動のイメージがありました。ロータリーは世界のロータリーでブランドです。ブランドって高いです。そういうイメージが RC にあります。

知り合いに話を聞くと、今年人件費を 5% 上げている、去年は 3% だったと。だから RC の会費も上げないといけないな、と思います。

山田会員

やはり会費を上げるか、費用もいろんな奉仕活動が増えて多くなっています。ですから、そういうものの見直しだとか、来月の理事会において、ある程度結論を出して、会費をどのくらい上げるのか、どうなるのか、また費用の、どういったものは今あまり必要ではないのか、というところで削っていければいいのではと思いました。

加藤会員

赤字の金額がすごく大きいということで、個人としては値上げをせざるをえないだろうと思います。経費削減が難しいということであれば、端的に値上げをしていただいても、負担ができる範囲なのかなと思います。世の中これだけいろんなものの物価が上がっていますので、いたしかたないことなのかなと思います。

渡辺会員

効率化と削減を一回見直し、またそれに見合った入金がないといけないので、その分会費を上げるというしかないのかなと思っています。もしそこで残念ながら辞めるという人がいれば、その分の方の歳入を減らして計算しなおして、というのを何度か繰り返していかなければいけないのかなと思います。会員増強もありますが、じゃあロータリーを安売りするのか、というところが私は疑問があり、なんでもいからお金を集めるためにどんな人間でもいから入れるというのは如何かなと思います。そういった意味では歳出にあった歳入を、会費を上げる形でありかな、と考えます。

木村会員

予算の支出項目や支出額の変更は難しく、それに物価上昇が継続する現在、結局は支出額も全体的に上昇すると考えられます。予算編成にあたり、サンセット方式（あらかじめ、終期を決めておく。；例えば 3 年を基準としてなど。）を取り入れる必要性もあるのではないかと思う次第です。

中野幹事

来月の理事会の中で、まずは今年度会費を決定して、平行しながら今後どうしていくか決めていく形になるかもしれません。

第 1376 回 2024 年 7 月 31 日（水）

オンライン例会

司会進行

点鐘

手に手つないで

幹事報告

相倉 辰徳会員

海江田健司会長

中野 広行幹事

幹事報告 中野 広行幹事

- ・次週の例会は 8 月 7 日、東京ドームホテルで開催いたします。理事役員会は同日 11:30 からです。御出席をお願いします。

イニシエーションスピーチ

日根野 雅敏会員

現在は千代田区神田須田町にて OA 事務機械・セキュリティ機械の卸売/設置保守を生業とする㈱ワイズで取締役副社長をしております。

昭和 37 年 7 月 21 日、千葉県八街市の生まれです。父は東京両国生まれ東京育ちの元会社員、母は千葉県八街市生まれの元小学校教師です。父と母は私より 2 歳上の姉が生まれる前に母の地元である八街市の駅前商店街で金物と瀬戸物を扱う商店を開業し、私は店の長男として育ちました。

私のふるさとの八街市は千葉県の中心、といってももちろん政治経済の中心ではなく、千葉県の真ん中あたりに位置するまだ畑が多くある田舎町です。都内へ通勤するのも 6 時台の電車に乗らなければならない所です。

有名なのは落花生（ピーナッツ）で生産量が日本一、市のゆるキャラもピーちゃん、ナッツちゃんです。土壌が赤土のため冬は砂ぼこりが舞い上がり視界が悪くなる通称「やちぼこり」という小さい砂嵐が起これるところですがその赤土が落花生にあうようです。最近では昨年に市議員に元モーニング娘の後藤真希（ゴマキ）の弟さんが当選したことで少しニュースになった市です。

小学生時代は商店街の店の長男として店の手伝いや近所の友達と遊ぶ普通の子供でした。中学高校では体を鍛えるために柔道部に入部していました。

高校 2 年の春に父が急逝し家の事情が変わってしまい、私も当時の部活動を休部して帰宅後は実家の商店の手伝いや車の免許を取ってすぐに配達も受け持っていました。当時は学校の休みと商店の休みの日が異なっていたので休める日がなく大変でした。

高校卒業後はすぐ実家の商店を継ぐつもりでしたが、帳簿も何もわからないため簿記会計の学校へ進みました。1 級を取得したのでそのまま税理士の学習を続けるよう勧められましたが金銭的な余裕もなくすぐに社会に出ることにしました。

家業を継ぐ前に短期間でも外の世界で営業職や販売を経験するため前職の OA 機器販売会社へ入社しました。前職である㈱フォーバルは今でこそ東証スタンダード上場（当時は店頭市場に上場前）している会社ですが当時はモーレツな営業会社で飛び込み営業を経験しました。当時の営業はとてもしんどかったと同時にとてもよい経験になりました。

東京支店所属の営業職で係長職まで経験したところで会社が株式上場を申請する準備に入ることになり急きよ本社の財務経理部に異動、そこから上場するまでの 3 年ほどは激務で会社やサウナに泊まるのも当たり前の日でした。

当時の業界が変革の時期で、会社も孫正義社長のソフトバンクと提携していたので役職会議で孫社長の挨拶を聞いて物腰の柔らかい方だった記憶があります。

その後、バブルが崩壊。当時会社が余剰資金を大手証券会社で運用していたため大きな損失も発生し、損失が発生した取引の中に注文していないものが含まれていることを発見し証券会社に苦情を申し入れたところ、謎の取引でわずかながら運用利益が増えたことがありました。

当時ニュースになった「損失補填」が金融庁から発表され補填されたことがわかりました。役員の指示を受けて、損失補填を受けた「訂正報告書」を届出することになり私が東京証券取引所に提出に行きました。その後は OA 営業本部などを経験し、平成 7 年に現在の会社の設立と同時に取締役に就任しました。

私の今の地域活動として『瑞穂みどりの少年団』のリーダー職として活動しています。全国にある『みどりの少年団』とは林野庁所管の公益社団法人国土緑化推進機構が国土緑化運動を推進する事業の一つです。全国の小学生を対象として、次代を担う子供たちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体です。

活動は 3 つに分けられ、『学習活動』森林の働きの学習・緑を守る学習・樹木博士、『地域貢献活動』緑の羽根募金運動・緑化行事への参加・清掃活動、『レクリエーション活動』ハイキング・キャンプです。

私の所属する『瑞穂みどりの少年団』は、地元の千葉市の瑞穂小学校の小学生を団員として、そこで私は保護者などで構成するリーダーという指導員として活動して 18 年になります。ピーク時は 100 名以上いましたが現在では 30 名ほどの小学生団員が活動しています。所属する団として受賞履歴は過去に緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、授賞式で明仁（あきひと）上皇様から表彰を受けました。

近年の具体的な活動は「地域の緑化、花の街活動」として地域の街路樹の街路マスへの花植え、区役所の玄関や広場の花植え、郵便局・小学校への花植えを春と秋に行います。また、地元大規模マンションの緑地の樹木へ樹木ラベルとして木の名前を調べ、木片ラベルを取り付けます。他には地元地域のハス祭りへの手伝いや夏の「みどりのキャンプ」への参加などです。

現在の会社は平成 7 年に千代田区神田須田町に前職の上司が代表となって設立開業し、私も同時に取締役に就任しました。当時は何もない事務所で、みんなで頑張っただけという明るい雰囲気とこれからは責任が大きくなるというプレッシャーがあったことを記憶しています。おかげさまで今年度は会社設立 30 周年を迎えることができ、現在は東京都以外にも拠点も増えて取扱商品も多岐にわたっています。

今後も社業の発展だけではなく、社会や地域にも貢献できるようにこのたび東京お茶の水ロータリークラブにも加入させて頂きました。微力ではございますがどうぞよろしくお願い致します。